

■森三千代 詩人、小説家。夫の金子光晴と波乱の人生を送った。

もりみちよ

田中正造直訴1901= 愛媛県宇和島に生れる。女学校国語漢文教師森幹三郎・とくの長女。

のち三重県宇治山田に転居。

日露戦争終・1905= 4歳 :

韓国併合・・・1910= 9歳 :

明治天皇没・1912=11歳 :

ベルサイユ条約・1919=18歳 :

原敬首相暗殺1921=20歳 :

護憲三派圧勝1924=23歳 : 東京女子高等師範学校在学中、詩人金子光晴と結婚。

治安維持法・1925=24歳 : 一子乾を生む。中退し、長崎に転居していた三千代の実家に移り、二人で上海に旅行、

金融恐慌・・・1927=26歳 : *処女詩集「竜女の眸」、光晴との共著詩集「蟻沈む」を出版。光晴の再度の上海旅行中に家出し他の男性と同棲。この三角関係の精算のため、

共産党事件・1928=27歳 : 光晴と日本を脱出、
中国・東南アジアからヨーロッパを貧窮のうちに放浪して、

満州事変・・・1931=30歳 :

五一五事件・1932=31歳 : 帰国。

日中戦争始・1937=36歳 : *日中戦争が勃発すると、光晴と中国に渡る。ここで光晴は侵略戦争の実態を把握し、以後、反戦詩を書き続けることになる。三千代の処女小説「小紳士」が認められて詩から小説に転じ、

大政翼賛会・1940=39歳 : 「巴里の宿」を出版。

日米開戦・・・1941=40歳 :

・・・1942=41歳 : 外務省の文化使節として仏印に派遣される。

創価学会検挙1943=42歳 : 「和泉式部」で新潮社文芸賞受賞。

戦時中は家族と山梨県山中湖畔に疎開。

敗戦・・・1945=44歳 :

新憲法公布・1946=45歳 :

戦後も「火宅」「豹」などを発表、

独立回復・・・1951=50歳 :

55年体制始・1955=54歳 :

美智子妃・・・1959=58歳 : *光晴との関係を描いた「去年の雪」で注目を集めた。

安保闘争・・・1960=59歳 :

東京オリンピック 1964=63歳 :

石油ショック1973=72歳 :

ケアンブール事件1975=74歳 : 光晴と死別し、

JALハイジャック・1977=76歳 : 没した。